ダイヤ街 かわら版 第②号

ダイヤ街に地域の美味が集う!!

ご当地味自慢くらべと秋の収穫祭！

小田原ダイヤ街商店会主催によるダイヤ街・秋イベント「ご当地味自慢くらべと秋の収穫祭２００８」を10月11日（土）・12日（日）に開催しました。夏イベントの「ハワイアンフェスタ」に続き、今年２回目となった商店街挙げてのイベントは天候にも恵まれ、たくさんのお客様にご来場頂きました。「食の祭典」ということで、普段とはまた一味違ったお買いものを楽しんでもらいました。

今回はご当地味自慢というテーマのもとに、２年連続B－級グランプリチャンピオンの【富士宮やきそば】をスペシャルゲストに迎え、小田原周辺のローカルグルメがダイヤ街に集結。地元小田原からは、【小田原おでん】、お山のたいしょうの【きのこ汁】、ダイヤ街発祥の新作ローカルフーズ【小田なる人（と）くん】、ダイヤ街鮮魚店「魚國」から【海鮮炭火焼】が出場。南足柄からは出来たて直送ビールの【アサヒビール園】と、【まさカリーパン】、湯河原から【担々焼きそば】、伊豆天城から【しし料理】と、地域で採れた食材をふんだんに使い、各々の味自慢を競い合いました。

▶熱がはいる販売合戦

◀FM小田原の生実況

B級グルメの王者【富士宮やきそば】はやはり貫禄の売れ行きを見せ、一方、知名度急上昇中の【小田原おでん】も圧巻の強さを見せるなど、どのローカルフーズも大盛況の中、南足柄の【まさカリーパン】は2日間続けて完売し、追加分も即完売という高い人気を集めました。強豪ぞろいの中、地元の居酒屋「乃の家」から生まれた新作【小田なる人（と）クン】も、秘伝のソースと、カラッと揚げたなるとが絶妙にマッチし、こちらも大健闘しました。なお、当イベントでは投票ボックスを設け、お客様自身に最も気に入ったローカルフーズを決めてもらいました。結果、南足柄の【まさカリーパン】が見事「第一回ご当地味自慢くらべ」のグランプリに輝きました。

▶ドランカーズのカントリーライブ

▶地元新作の小田なる人クン

▶グランプリに輝いた【まさカリーパン】

▶ダイヤ街商店会メンバー

収穫祭では、ダイヤ街商店の【茶加藤】による「お茶詰め放題」と、旧長崎屋前にてアプリB１の食品スーパー【ユータカラヤ】による、「採れたて野菜の直販売」が行われ、同店では「しいたけ詰め放題」や「うまい棒詰め放題」などのサービスタイムも行い、多くのお客様で賑わいました。また、「ダイヤ街びっくりタイムサービス」では、時間ごとに各店の紹介アナウンスがダイヤ街全体に流れると、その該当店舗にてタイムセールを開始し、多くのお客様にご利用いただきました。

また、前回に引き続き、メイン会場となったエポ・アプリ前広場では特設ステージを設け、11日（土）は地元大学生によるバイオリン、チェロ、ピアノの演奏会、12日（日）はカントリーミュージックを奏でるバンドを招いたライブを行い、味覚だけでなく五感で楽しめるイベントとなりました。当日は、会場の模様がFM小田原に実況生中継されるなど、大きな反響を呼びました。

混雑時の対応や駐輪場問題、インフォメーションの少なさなど、反省点は多々ありましたが、皆様のご協力により、無事に終えることができました。商店会一同、心から御礼申し上げます。次回はさらに小さな感動の散歩道が輝くよう努めて参ります。よろしくお願い申し上げます。

▶赤字覚悟のお茶詰め放題

◀地元学生による演奏会

▶大盛況の新鮮野菜直販売

ダイヤ街商店会
Daiya Shopping Mall

ダイヤ街お店紹介

【茶加藤】

当店のドメインは「享保13年から日本の心、茶文化を発信しています」。店頭はオープンにして入りやすくする一方、接客カウンターを中心に長椅子による休憩スペースでゆったりとした〈くつろぎの場〉を提供しています。店舗内ギャラリーコーナーでは各種展示を月替わりで実施。商品は主に美味しさの追求をした、自社ブランド〈深むし茶〉がメインです。また、それぞれの商品ごとにおいしいお茶の淹れ方をお伝えしております。

雨天時のご来店と毎月25日以降は、量り売りお茶全品20％増量サービスを行っていますので、ご来店お待ち申し上げております。

温かい接客と茶文化を発信する店内

広報委員長のひとりごと

私が小学生の時、駅前といえば【登山デパート】であった。何が買いたいということもなく、いつも何かを期待して遊びに行っていた。その次に【志澤】ができた。私の記憶が正しければ、都庁を設計した丹下健三氏の設計だと思う。（今は万葉の湯に変わってしまった）世の中に「カップヌードル」が登場して、この辺ではデパートしか買えるところが無かった。といってもラーメン屋さんのどんぶりのラーメンを食べたほうが安かった時代で、到底買うことはできなかった。とにかく駅前は人通りが多く、そこに行くと何かがあった。私の家は中町なので、特新玉新道の茶半さんを横切り銀座通りや、仲見世通りの食品の匂いを商店の呼び声を聞きながら通り過ぎる。ひとりで歩いていても誰かしらが声を掛けてくる。対面販売の立ち並ぶ商店街では、若い主婦なら何も買わずには通り過ぎることは出来なかったかもしれない。（下段につづく）

小学6年生の時、金魚屋さんで店番の手伝いをした。私の初めてのアルバイトは日給で３００円。ただしお昼は【大政】というトンカツ屋でお代わり自由の食事をさせてもらった。当時の私たちの興味はプラモデルなどで、【あさひや】さんの売り場にはよく足を運んだ。駅前は、私の少年時代の〈楽しみのおもちゃ箱〉だった。お小遣いをもらっては、お年玉をもらっては出かけて行った。それこそ何でも揃い、子供たちだけでなく大人も楽しめる〈スペース〉だった。時代が変わり、買い物も食事も車中心の世の中。郊外にショッピングセンターができ、ほとんどの生活必需品が一か所で満たされる。駅前が空洞化して、生活を満たす環境から、どちらかというと「非日常」のカラオケやパチンコ、ゲームセンターに占有されてきた。もちろん存在意義があって成立しているわけなので問題はないが、私たちが生活の中で「駅前」に出る楽しみ、わくわくする〈期待〉が薄れてしまっていることは確かだ。

小田原駅はどこに行くにも便利だし、どこからも来やすい場所でもある。こんな「地の利」を得ながら、ただ虚しく「空洞化」を見ていくのは、一市民としても悲しい出来事である。昔に戻ることはできないが、子供も大人もわくわくドキドキする〈スペース〉であるような、そんな「駅前」になったらいいなと思う今日この頃である。

（ふらんす亭・古川達高）

マーケット・アイ Vol.2

「朽ち果てない美しさ」

アンチエイジングという言葉はあまり好きではない。歳をとることがマイナスのようなイメージがある。誰もが歳を重ねるたびに心に糧ができ、楽しい人生を送りたいと望んでいる。そこでアンチエイジングをビューティフルエイジングと置き換えると、素敵な響きに変わってくる。良い建築物は歳を重ねる毎に味が出てくる。ミラノにあるドォーモ（ヴィットリオ・エマヌエーレ2世）は、19世紀初めに完成したパサージュ、商店街である。今も街のランドマークであり、美しく歳を重ねている。人も建物も商店街、そして街自体も、常に前向きな思考や行動力がパワーとなることで、ビューティフルエイジングが可能になる。千年都市小田原こそ、次世代に継承する“朽ち果てない美しさ”を追求してく街にふさわしい。（ま）

～商店街活動に参加して～

ダイヤ街の住人になって8ヵ月余り。勿論のことながら最初は右も左もわからずのスタートでした。ご縁で商店会に入会し、「参加することに意義があり」と微力ながらお手伝いしております。当初は商店会にお知り合いもあまりおらず、他店様の店長さんやスタッフさんとは“挨拶”程度のお付き合いでした。商店街といってもお店同士は独立しているので、お店の皆様とゆっくりお話する機会は多くありませんでした。しかし、商店会の活動に参加する度に皆様と顔見知りになり、ただの“挨拶”から“立ち話し”をする仲へと変わりました。更に親しくなる中で、お店さんの個性を知ることができたり、又自店に参考になるお話しがきけたりと、自然と居心地が良くなっていました。商店会の皆々様の参加により、一致団結してよりステキなダイヤ街ストリートになったらうれしいです。お祭りは皆でやらないと楽しくないし、役員の方々が事前の準備や当日も朝早くから準備し、夜遅くまで片付けをしてくれています。本当に御苦労さまです。“感謝”の一言に尽きます。一店でも多くのお店さんの一緒にダイヤ街を盛り上げて、新しい時代を築いていきたいです。次のイベントがとても楽しみです。（とく市・加藤ちえこ）

冬のイベントのお知らせ

第3弾のシーズンイベントのお知らせです。冬イベントのタイトルは「（仮）クリスマスマーケット＆ビートルズワールド」です。ダイヤ街全体をドイツのクリスマス市のようなクリスマスカラーを装飾し、さまざまなギフトを楽しくお買い物できるような企画や、寒さを吹き飛ばす楽しいイベント考えています。また、12月8日のジョンレノン命日にちなんで、ビートルズの楽曲のみで構成されたたくさんのライブコンサートを企画しています。日程は12月6日(土)・12月7日(日)の2日間の開催です。みなさまのお越しをお待ちしております。

ダイヤ街目安箱
ご意見・ご感想お待ちしております。
info@daiya-gai.jp
発行責任者：広報委員長 古川達高
企画編集：（株）商い創造研究所